

留 学 報 告 書

記入日:2014年8月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科フランス文学専攻
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ランス大学 現地言語: Université de Reims Champagne Ardenne
留学期間	2013年8月～2014年7月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	文学部現代文学専攻
帰国年月日	2014年7月29日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～1月中旬 2学期:2月上旬～6月下旬
学生数	22,903人
創立年	1548年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	450e	65,000円	語学学校 CIEF
宿舍費	1,555e	206,150円	
食費	1,250e	172,000円	
図書費	100e	13,700円	購入は任意
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	500e	70,000円	
医療費	0	0円	
保険費	880e	119,000円	形態:
	231.10e	31,000円	
渡航旅費	977e	130,000円	大学のリエゾン棟にて
雑費	2,200e	300,000円	荷物輸送代、土産代、はがき代、旅行費等
合計		約 1,100,000円	

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類 Korean Air

往路 _____

復路 _____

合計 130,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明治大学リエゾン棟利用。一括の方法がより安かったため、往復の予約とも全て和泉で手続きを済ませました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

協定校にて手配していただきました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

かなり小さい学生寮でしたが、それさえ慣れれば他国の留学生とも交流のできる良い環境でした。共同キッチン是不便なところも多々ありますが、たくさん交流の場を作りたい方にはお勧めです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

しなかった。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

治安の良い町でした。少し悪い区域もあるそうですが、特に用がなかったので行きませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内、学生寮はコードさえ作ってしまえば、夜の閉鎖時間以外は常に使えました。しかし学生寮はインターネットが特に夜中に混雑するらしく、繋がりは不安定でした。

街中だと、マクドナルド、tourism が使えますが、wifi cafe はあまり見当たりませんでした。

5)現地で資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で海外からでも引き出せる銀行口座を開設して、親に送金してもらっていました。クレジットカードはあらかじめ簡単に、銀行によっては無料で開設ができます。私はクレジットに少しの金額を入れておいて、インターネットで買い物をする際に使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

寮賃の支援金を頂くために(caf)、戸籍抄本のフランス語訳が必要になります。パリの日本大使館でもフランス語訳はできますが、日本でできるなら済ませて持っていくと楽です。また日本で奨学金を受けている人は、証明書の英訳も提出しなければならないので、事前に用意しておいてください。日本食についてはランスにもアジアショップがあるので、少し高いですが調達できると思います。パリに行けば、もっと豊富に日本食が揃っています。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

二年生の後期から一年留学をしましたが、就職活動には全く支障がありませんでした。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 20単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Methode (CIEF)	
科目設置学部・研究科	CIEF
履修期間	一学期間
単位数	無
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Mme Arnault
授業内容	DELFB1のテキストを文法を踏まえて解きながら、リスニング、スピーキング、ライティング、リーディングを鍛える。
試験・課題など	ライティングのテストが一学期間に3、4回。課題は毎回教科書から出される。
感想を自由記入	文法においては既に日本で習ったことをやるので少し退屈だったが、会話力、リスニング力が圧倒的に劣っていると気付くことができた。この授業は有料。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Methode (CIEF)	
科目設置学部・研究科	CIEF
履修期間	一学期間
単位数	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mme Arnault
授業内容	上記と同様。 週に4回 METHODE があり、前日の続きを行う。
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Methodes (CIEF)	
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期間
単位数	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Mme Arnault
授業内容	上記と同様。
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Methodes (CIEF)	
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期間
単位数	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Mme Lefebvre
授業内容	上記と同様。
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Methodologie de la langue ecrite-langue anglais	英語
科目設置学部・研究科	Mention Langues, Littératures et Civilisations Etrangères et Régionales (LLCE): Anglais
履修期間	一学期間
単位数	1.5
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	
授業内容	テキストの問題を解く。
試験・課題など	毎回テキストを各自で解いて、授業で答え合わせをする。授業と同じ形式でテストが用意される。
感想を自由記入	英語を勉強することも忘れなくなかったので取った。英語はもう一つ取ってあったので、二つ合わせて2単位が認定された。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
traduction langue anglais	英語翻訳
科目設置学部・研究科	Mention Langues, Littératures et Civilisations Etrangères et Régionales (LLCE): Anglais
履修期間	一学期間
単位数	1.5
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	
授業内容	フランス語文を英語文に翻訳。
試験・課題など	毎回各自で英語に訳してきた文を授業で答え合わせをする。授業と同じ形式でテストが用意される。
感想を自由記入	フランス語のフォーマル過ぎない翻訳の仕方や、英語でいう過去形とフランス語の過去形の訳し方を学べて、毎回発言をしなければならないのは緊張したが、とてもやりがいがあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
litterature et societe	文学と社会
科目設置学部・研究科	現代文学
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Alexis Levrier
授業内容	文学作品を解読しながら、その時の社会情勢を読み取っていく。
試験・課題など	毎回本の指定された範囲の文学を分析していく。テストは授業で行った範囲を同じように読解、分析。
感想を自由記入	一学期でまだ耳も慣れてない時に始まったので、かなりレベルが高く感じた。実際フランス人の学生でさえも、テストで不合格の人が少なくなかったとのこと。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Soutien Languistique	自由学習
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	自習
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	CIEF
授業内容	一学期間で基準の時間、CIEF内で自習としてフランス語を学ぶ。ERASMSのために設けられた授業。夜に行われる会話の授業に参加してもいい。
試験・課題など	学期末に自分が学習したノートの提出を求められる。会話の試験がある。
感想を自由記入	自分のやりたい教材で自習することができたので、苦ではなかった。会話の授業は友達を作るチャンスにもなるし、先生が直接フランス文化を教えてくれるので、是非参加したらいと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Pourquoi la litterature?	文学の起点
科目設置学部・研究科	現代文学
履修期間	二学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	なぜ人は文学を創造するのか、勉強するのか、読むのかと、文学が今もなお愛され存在し続けている理由を哲学的な視点からも明確にしていく。
試験・課題など	中間試験、期末試験が筆記により行われる。授業で学んだことについて論述する。また出されたテキストを学んだことを生かしながら分析する。
感想を自由記入	先生が文学を愛してやまないようで、毎回熱弁しているそのフランス語を聞き取るのも、力を込めすぎて書かれた黒板の文字を解読するのも多少困難だった。理解できれば興味深い内容。履修者はかなり少人数であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Geographie de la population	人口地理学
科目設置学部・研究科	地理
履修期間	二学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	
授業内容	近代の世界的な人口の流れ、国外逃亡、移民の移動理由を国を例に挙げて分析する。
試験・課題など	試験の代わりに授業の範囲で最も興味を持ったことについて、レポートを指示された枚数提出。
感想を自由記入	教授がとても親切な方で、親身になって相談を聞いてくれる。国際情勢に関心のある私にはとても興味深い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
economie d'entreprise	経済史
科目設置学部・研究科	Mention Langues, Littératures et Civilisations Etrangères et Régionales (LLCE): Anglais
履修期間	二学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団クラス
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	
授業内容	基礎経済史について、フランスの現在市場について踏まえながら進めていく。インターネットを使いながらの企業分析の仕方を学習する。
試験・課題など	課題は教授の提供した企業の分析。テストも同じように出された資料を基にある企業を学んだことを生かしながら分析する。
感想を自由記入	経済史の知識がほとんどなかったので苦労したが、仕事で実用できそうなフランス語を学べた。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	高校卒業
4月～7月	資金集め(アルバイト)
8月～9月	協定留学選考の情報収集、資金集め
10月～12月	出願、面接試験、資金集め
2013年 1月～3月	現地情報収集、住居などの手続き、 資金集め(奨学金、アルバイト)
4月～7月	現地情報収集、明治大学の必要授業単位の確認、 就職活動への支障の確認、VISA 取得、 資金集め(奨励金、アルバイト)
8月～9月	留学開始、授業開始
10月～12月	中間試験、学期末試験 vacances
2014年 1月～3月	授業
4月～7月	中間試験、学期末試験 vacances
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生の頃からフランス語を習っていたので、大学でフランスへ留学をしようと決心をしていました。高校生の頃はフランスに対しての憧れが強く、いつか自分の語学力を使ってあちらに住んでみたい、日本を出て世界を見てみたい、と少し夢見がちな目的で大学に入り、二年で留学できるように勉学に励んでいましたが、大学に入り自分の将来について考えるうちに、留学をただの夢として考えるのではなく、留学を使って将来の目標に近づくための過程にしようと考え始めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のために、まず普通の授業も真剣に受けようと心掛けました。何より私の問題は、留学資金が足りないということだったので、アルバイトとの両立に励んでいました。他には、授業以外にも語学力を向上させるために自習をしました。やっておけば良かったことは、もっとリスニングの練習をしておくことと、できれば英語の勉強です。あちらにいる留学生は始め、フランス語でなるべくコミュニケーションを取ろうとはしますが、どうしても難しい場合は英語を使用します。高校からフランス語を専攻してきた私は、初めは特に苦労しました。
この留学先を選んだ理由	金銭的にも物価の高いパリは避けようと思っていました。しかし田舎過ぎると人が少なく困ると聞いていたので、大きな都市でパリにも近いランス大学を選びました。
大学・学生の雰囲気	とても落ち着いています。キャンパスによって雰囲気は違うかもしれませんが、私の通っていた croix rouge は広大な土地でキャンパス内に緑も多く、とても居心地は良かったと思います。
寮の雰囲気	寮は7階建てで、一階あたり約40部屋ある大きな学生寮でした。パーティが行える場所が大広間しかないので、夜が静かな点ではとても満足していました。共同キッチンでよく友達と食事をしていました。管理人さんもみんな優しく、部屋が小さいこと以外は満足していました。
交友関係	大学では自分の取りたい授業を優先したので、友達と一緒にはいませんが、同じクラスのフランス人の子に分からないところを教えてもらっていました。寮ではよく一緒に食事をしたり、バカンスや週末と一緒に出掛ける友達がありました。その他にも、erasmus のパーティがあると、他の友達と出掛けていました。話が完全に通じないこともよくありましたが、交友関係はうまくいっていたと思います。
困ったこと、大変だったこと	留学を開始した月に思わぬ出費が重なって、とても不安でした。もっと多めに予算を立てておくべきだったと思います。またランスは人口は少ない方ではないものの、自分から積極的にコミュニティーをいくつか見つけ出さなければ、何もない一週間を送ってしまう可能性もあります。日本人学生もあまり見当たらないので、誰か他の学生に頼ることもできません。完全に自立した生活は私が留学に求めていたものでしたが、慣れるまではやはり少し大変でした。
学習内容・勉強について	私は現代文学を専攻していましたが、文学を学ぶのが主な目的ではありませんでしたので、自分の目指す職業に役立つような授業を選択しました。勉強方法は主に、録音した授業の復習をしていました。他には授業で進められた教材を買って読んだり、どうしても分からない点は同じ授業を受けていたフランス人の子に手伝ってもらいました。先生も相談をすると、テストのための勉強方法のヒントを与えてくださいました。
課題・試験について	課題は大量にあったわけではないのですが、まず授業を理解しなければならなかったため、平均的な課題の量でもとても苦労していました。授業で発言をしなければならぬ課題がよくあったので、必死でした。試験については、試験勉強のためのバカンスが必ずあったのは良かったのですが、バカンス前にテストがあった時は、かなり苦労しました。
大学外の活動について	大学外の時間はフランス内を少し旅行したり、自由参加のスポーツに参加したり、日本語を学びたいという友達に定期的に時間を取って教えていました。他にも他の国からの留学生と話す機会を設け、自分たちの国の情勢について論議する機会を設けていました。
留学を志す人へ	既に留学をした日本人は過去に大勢いるし、その人たちが残した私たちのための、うまく留学を切り抜けるための情報も簡単に見つかると思います。それは時に言語を習得する上でとても役に立つかもしれませんが、そんな足りない情報が苦労なく収集できる今、留学を利用して自分で新しい情報を見つけることに喜びを感じてほしいです。つまり、個性のある自分だけの留学生生活を創り出してください。それが帰国した時に一番の自分の誇りになると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	自習	自習	授業	自習	睡眠	自習
	自習	授業	自習	自習	自習	買い物	自習
午後	授業	自習	自習	自習	友人と食事	友人と食事	自習
	授業	授業	自習	自習	自習	自習	討論会
夕刻	夕飯、朝食、 昼食作り	自習	友人に 日本語を 教える	夕飯、 朝食作り	自習	自習	自習
夜	自習	友人と食事	自習	スポーツ	パーティ	映画鑑賞	自習